**第５回登別市市民自治推進委員会　産業躍動部会議事録**

（敬称略）

◆ 開催日時：平成２８年９月７日（水）１８：３０～

◆ 開催場所：アーニス２階　会議室

◆ 出席部会員：副部会長　川田　弘教

　　　　　　　 部会員　　近井　一夫

　　　　　　　　　　　　 吉田　武史

　　　　　　　　　 　　　志水　孝暢（協働推進庁内委員会部会長）

【観光経済部商工労政グループ次長】

井上　昭人（協働推進庁内委員会副部会長）

【観光経済部商工労政グループ総括主幹】

◆ 欠席部会員：部会長　　髙橋　弘康

部会員　　安達　陽子

　　　　　木村　義恭

小川　賢

◆ 事　務　局：　　　　　笠井　康之【市民生活部市民協働グループ総括主幹】

　　　　　　　　　　　 　早坂　晃正【市民生活部市民協働グループ担当員】

◆ 議　題：「健康」に関する取り組みについて

**≪事務局≫**

　　最初に、観光協会から新たに吉田委員が参加されますのでご紹介いたします。

それでは、事務局から今日の会議の流れを説明させていただきます。

前回、8月3日に開催しました第４回産業躍動部会では、前段に企画調整グループから「第３期基本計画・第１次実施計画」と「地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金」に関する情報提供がありました。

その後、「健康」をテーマにした取組について、７月１３日に開催された部会長・副部会長会議の報告を事務局から行いました。

その後、産業躍動部会における「健康」に関する取り組みについて、協議を行い、温泉、長期滞在に繋がる取組み、空き店舗の利活用、新規観光スポットの発掘に焦点を絞り今後協議していくこととなりました。

　　本日は、前回会議の中で出た内容について、具体的な取組について議論していただきますが、その前に配布しております資料、「市民自治推進委員会スケジュール」について説明します。

この資料は、部会長・副部会長会議で取組に係るタイムスケジュールを示してほしいとの要望がありましたので、事務局で作成したものです。

資料は今年度のスケジュールになっており、右から縦に「役所のスケジュール」「市民自治推進委員会」「庁内委員会」「行政」「市民及び団体」それぞれのスケジュールになっています。

「役所のスケジュール」は、市の新年度予算要求のスケジュールになります。

　記載されているのは前年度のスケジュールですが、９月から実施計画ローリング

１０月からはそれ以外の予算の要求事務が始まります。

　　ちなみに、「実施計画ローリング」では、新規事業や政策的な意味合いの強い事業、建築・土木系のハード整備事業などが対象となります。

また、「予算」のほうは、通常の市役所の事務や事業を維持していくために必要な経費、例えば施設の維持管理経費や職員の人件費などが対象となります。

その右は「市民自治推進委員会」のスケジュールですが、４月２５日に全体会議を開催し、テーマを「健康」に決めました。

　　その後、月１回部会を開催して「健康」に関する議論を重ねてきました。

　　７月１３日には、各部会における協議内容の確認などのため、部会長・副部会長会議を開催しました。

　　今後につきましても、月１回部会を開催し、「健康」に関する取組について議論していただくことになりますが、市の新年度予算に反映するものについては、９月頃までには取組を固める必要があります。

　　９月か１０月には部会長・副部会長会議を開催する予定です。これは前回の部会長・副部会長会議において、部会を２回くらい開催した後、再度、部会長・副部会長会議を開催して進捗状況の確認をするような話があったものです。

　　１１月にも部会長・副部会長会議の開催を予定しておりますが、これは、市の事業への反映状況などについての報告と今後の取組の確認などを想定しております。

今後の取組については、その下に「今後の取組の検討事項」として想定されるものを例示として記載しています。

　　なお、９月か１０月の部会長・副部会長会議と１１月の部会長・副部会長会議は、各部会の進行状況によってはどちらか１回の開催になる可能性があります。

　　１１月と１２月に「部会の開催　健康をテーマとした継続的な取組を検討」とありますが、「健康」に関する取組については、市に関するものを先に検討したので、　　　各種団体や市民レベルの取組について検討していくことになると思います。

　　２月に「まちづくり部会（仮予定）市民講演会」とあります。まちづくり部会では「健康」に関する取組として健康に関する講演を検討しており、先月の２９日に市民自治推進委員会の委員を対象に開催しました。市民を対象としたものについては、今年度予算対応で２月頃に開催できる可能性がありますので、まだ仮の仮ですが、記載しております。

「市民自治推進委員会」の右は、「庁内委員会」と「行政」のスケジュールになります。

「庁内委員会」は、市民検討委員会のときと同様に、庁内に協働推進庁内委員会を設置し、市民自治推進委員会の６部会に対応した庁内の６部会を設置しています。

　「庁内委員会」と「行政」は、市民自治推進委員会の議論に対応して庁内部会等を開催し、既存事業の見直しや新規事業などにより市の取組の反映を検討します。

一番右は「市民及び団体」のスケジュールになりますが、主に委員の皆さんの対応を想定して記載しています。

　　上から３つめの囲みに「各団体・事業所へ情報共有」とありますが、これは以前にも部会でお願いしましたが、委員の皆さんは所属団体からの推薦により市民自治推進委員会に参加している方がほとんどでありますので、所属団体の中で、市民自治推進委員会はこういうことをやっているよという市民自治推進委員会の取組について情報提供・情報共有していただきたいということがあります。

　　また、必要に応じて各団体内で健康に関する取組の検討をしていただきたいということです。

　　その下の囲み、１０月のところに「各団体・事業所内での新規事業の検討」とあります。

　　これは、部会の中で議論された内容について、委員が自分の所属する団体や事業所内で対応可能な取組について、計画や予算化を検討していただきたいということです。

　　スケジュール的には、市の取組に関する協議を先にしていただき、その後の話になります。

　　その下の２月のところに「市民、各種団体等が市民参加」とあります。これは、「市民自治推進委員会」の２月のスケジュールの「まちづくり部会（仮予定）市民講演会」に対応しているもので、講演会に市民や各種団体の方々の参加を予定しているものです。

スケジュールの説明は以上になります。

配付資料についてですが、前回の部会の中で、温泉の長期滞在についての観光ルートの話がありましたので、現在紹介されているルートについて資料を配布しております。もう一つはゲートウェイセンターのホームページで掲載されている観光案内の資料になります。

長期滞在に繋がる資料として用意しております。

**≪部会員≫**

私としてはもっと登別の紹介をして欲しいと感じます。キウシト湿原やネイチャーセンター、三段の滝といった登別でもまだまだ観てもらえる所があると思います。

**≪事務局≫**

部会の中では、温泉に長期滞在や全市観光といった話が出ている状況ですが、観光協会で何か積極的に取り組まれていることはありますか。

**≪部会員≫**

観光協会では、プロモーションビデオを作ろうと思っています。連合町内会に協力してもらい市内の魅力を紹介したいと思っています。そこから全市観光に繋げたいと思っているところです。

**≪事務局≫**

産業躍動部会では、健康をテーマとして温泉に長期滞在といった話が出ていますが、その部分についてはどうでしょうか。

**≪部会員≫**

海外では体を癒すために温泉に入るとされています。昔でいう湯治ですね。

現在は、湯治離れしており、そういったシステム自体が減ってきています。今一度、湯治のシステムに戻って、温泉療法といいますか、身体的にもメンタル的にも癒され、さらに登別市内を観てもらえることが登別市にとって一番良いことだと思います。

ドイツや台湾では身体のために温泉に長期的滞在するそうです。疲れや身体を癒す旅の仕方をこちらから提案して知ってもらう必要があると思います。

**≪副部会長≫**

前回の部会でも湯治の話が出ていました。

個人的には、先日の大学フォーラムのヒアリングで生徒さんの話を聞かせてもらいましたが、観光と別に移住体験の事業をされているということでした。今ある景勝地ではなく、先ほど話がありました連合町内会の懇談も含めて、日常生活の暮らしで魅せれるものをヒアリングしたほうが良いのではないかという思いはあります。

そういった部分と売り出す魅力の一つである温泉を繋げてなにかできれば良いのかなと思います。

観光協会のホームページに出ているプランは登別が少ないので、もっと登別のコースがあると良いのではと思います。コースについてもこの部会だけでなく、先ほど話があったように広くヒアリングをして企画できれば良いですね。

**≪部会員≫**

私が、登別ブランドに携わって感じたことは、有名でないものを有名にしようとするよりも、既に有名なものをより魅力付けて伝えるほうが、簡単に大きな効果が得られると感じます。まだまだ発掘できていないものを広めることも大切ですが、まずは一番知られている温泉を活用して、全市観光に結び付けるほうが良いと思います。そうなると、湯治が考えやすいかと思います。

ただ、全国の温泉を回っているというお客様が、登別温泉の情緒が変わったと話していまいした。「昔は良かった」とも話していました。そのお客様は、郷土浴場で混浴の時から来ていたので、そのような言葉が原点になるのではないかなと思います。

　今はどの温泉も近代化が進み、どこに行っても同じで、温泉の種類だけが違うといった話もしていました。疲れが溜まったらここに来ようと思ってもらえるような場所であることが原点ではないかなと思います。

**≪副部会長≫**

　ほかに長期滞在型で考えられるものは何かありますか。

**≪部会員≫**

　登別温泉は滞在するのには高いと思います。滞在をするなら昔風の旅館ですね。

湯治はカルルス温泉のほうが静かで良いのかなと思います。

　湯治に行くにも、１人２人ではなく５、６人で楽しみながらのほうが良いのかなと思います。

**≪部会員≫**

　登別温泉に宿泊施設を設けて、日帰り入浴もできて、宿泊も安い金額でできる場所があれば市民の利用も増えるのではないかと思います。

**≪副部会長≫**

　温泉周辺にあるかわからないですが、空き家や民家を利用して、民泊ではありませんが、そういったものを活用してみるのはどうでしょうか。基本はセルフサービスで、入浴や周遊をサポートできるようにするというのも良いかもしれません。

　札内には空き家や使用されていない古い建物などはありませんか。

**≪部会員≫**

　ないですね。

　登別温泉には空き家はないですか。使用されていないホテルなど。

**≪部会員≫**

　ないですね。

**≪事務局≫**

　今、健康と湯治の話がありました。湯治であればカルルス温泉というイメージがあるということでしたが、登別温泉にも湯治ができるような場所があれば市民の健康に繋げることはできるのかなと思います。

**≪部会員≫**

　以前に、開発局の当時の佐藤建設部長の講演を聞いたことがありましたが、そのとき登別温泉の空気がとても澄んでいるという話を聞きました。そういったものが目に見えるように掲示板を設置したら良い空気を吸ったと感じられるかもしれませんね。

また、カルルス温泉はマイナスイオンが凄いという話もあります。歩くだけでもリフレッシュできるという話を聞きました。

**≪事務局≫**

　そういったものが具体的にわかるものがあれば良いですね。データとかがあれば良いですね。マイナスイオンの話は何で知ったのですか。

**≪部会員≫**

　それも、その講演の時に聞きました。具体的にデータがあるとかという話まではちょっとわからないです。

**≪事務局≫**

　そのようなデータがあれば、売り出せるし健康にも繋がりますね。

**≪副部会長≫**

　それであればすぐできるかもしれませんね。そこまで費用もかからないのではないでしょうか。

　空気であれば、カルルスだけではなく、鉱山も良いかもしれませんね。

**≪事務局≫**

　健康に良い空気やマイナスイオンといったものが具体的にわかるものがあれば良いかもしれませんね。

**≪部会員≫**

　それと、温泉でも目の湯というのがありまして、その湯で洗ったら目が良くなったから目の湯と言われていますので、そういったのも使えるかもしれませんね。

　あと、JCHOが移転した後に先進医療施設として活用してもられると良いと思います。例えば指宿（いぶすき）の温泉地では陽子線治療ができる施設があり、治療には数日必要となり、１日の治療時間は短いので、その間にゴルフや釣りに行かれる方がいるそうです。そういったことも、健康との結びつきになるのではないでしょうか。

　現代の人が何にお金を使うかを考えるとやはり健康ではないかなと思います。そうなると、やはり温泉に入っていただくのが良いのではないかと思います。

**≪事務局≫**

　温泉の効能などが書いてありますが、あまり大々的に出ている感じはしないですね。ホームページには掲載されてはいますが。

**≪部会員≫**

　読む人しか読まないですね。

　その効能についても、駅やスーパーといった場所にも張り出して、周知するのも良いと思います。

**≪副部会長≫**

　効能についても裏付けなどあると良いと思います。そこを具体的に調べられたら良いですね。温泉も長く入っていれば良いということではないと思いますので、入り方とかもわかれば良いですね。プラスαで先ほど話があった、温泉やカルルスの空気が良いといったことを合わせると良いと思います。

**≪部会員≫**

今、魚離れしている人が多いと思うので、例えばタラを自分でさばいて昔ながらのタラコを作くる料理教室なんかがあると良いと思います。伝統を伝えることもできるし、地元の食材をPRすることもできてさらに無添加なので健康にも繋がると思います。

**≪事務局≫**

　今までの話の中で、温泉、温泉の効能、長期滞在、全市観光といった話がありましたが、市の予算の関係もありますので、新年度の予算や事業に向けて反映させるものがあれば、先に協議をしていただいて、それ以外を後から協議していただくことになります。今の話の中で来年度に反映できそうなものはありますか。

**≪部会員≫**

　温泉熱を利用したアスパラやボリボリの栽培とかはどうでしょうか。

サーモンの養殖など、何か産業が一つあればと思うところです。

**≪庁内委員≫**

　養殖は現状では厳しいと思います。

　その事業を誰がやるのかも問題になりますね。

**≪事務局≫**

　魚の話であれば、先ほどの魚の教室は良いかもしれませんね。

　後は、温泉の効能などを詳しくといった話や、空気が澄んでいるといった話がありましたが、観光協会で調べたりとかはできるのでしょうか。

**≪部会員≫**

それについては、観光協会でも調べてみる価値がありそうだと思っています。

**≪副部会長≫**

温泉も体に良いという根拠があるともっとＰＲできますね。そういった効果などの立証が必要になりますね。

**≪部会員≫**

温泉は体に良いという実例があると良いのではないでしょうか。

**≪部会員≫**

硫黄泉は漆には良いですね。かゆみとか治ります。

**≪庁内委員≫**

先ほど観光協会で行うと言っていました、全市観光の洗い出しは絶対に必要なことだと思います。

　普段の生活の中で、自分たちは当たり前と思っていることも、ほかの地域から来た人にはこれは良いといった発見があるので、もっと掘り起こしが必要ですね。

**≪副部会長≫**

　　ヒアリングでも、ただ魅力がある所といってヒアリングをしてしまうと同じものが出てくるので、ポイントを押さえないといけませんね。

**≪副部会長≫**

　本日は、長期滞在型の観光を目指すことで健康にも繋げようと話を進めましたが、出てきたキーワードに、湯治や効能がありましたので、これらについて次回話し合いできればと思います。

　併せまして、全市観光についてもお話していきたいと思います。

　　本日も、お疲れ様でした。

**【次回会議について】**

・長期滞在型の観光について協議を行う。

・温泉の効能について詳しい情報の報告をする。

・商工会議所で行われた魅力再発見プロジェクトについての説明。

**【次回の日程】**

・平成２８年１０月５日（水）１８：３０～